

科目区分	専門教育科目	授業科目名	公衆衛生学			科目コード	26S201	担当者	吉井 学			担当形態	単独
対象学科・コース	生活創造学科 栄養士コース	配当年次	2年次	開講学期	春学期	単位数	2	必修・選択の別	必修	免許・資格要件	栄養士必修、社会福祉主事任用資格		
授業形態	講義	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	
実務の経験を有する教員担当科目	該当	実務の経験内容及び科目との関連	臨床検査技師、公益法人にて環境部門・公衆衛生を担当。大学及び短期大学で生化学関係、臨床検査医学、保健機能食品学等の講義と実験・実習を担当、この経験を活かして公衆衛生学について授業を行う。							科目に含めることが必要な事項			

授業の主題	予防医学、環境保全に必要な処理・対策、労働衛生・衛生管理、少子高齢化社会での保健医療、社会福祉・社会保障についての知識を得る。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	必要に応じて理解度を確保するための課題を課します。後日、課題の振り返りを行います。
授業の方法	講義、ワーク、テキスト、配布プリント、視聴覚教材（ICT活用等）に基づいて学修する。毎授業ごとに課題を課す。新型コロナウイルス感染症の感染状況により、遠隔授業となる場合があります。	アクティブ・ラーニングの実施方法	

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	公衆衛生学の成立と疫学研究及び予防医学との関係	WHOの健康の定義を知り予防医学について考察する。	第9回	老人保健	老人保健法を知る・授業の振り返り	
第2回	人口動態	地域的人口動態を知る・将来の推定を行う。	第10回	成人期の保健、生活習慣病の動向	国の保健行政を知る・生活習慣病についてQ&A。	
第3回	妊娠・出産関係の保健	先天異常の現状を知り予防策を議論する。	第11回	環境保健	公害の歴史を知る・授業の振り返り	
第4回	感染症と食中毒の要因を知る	感染症発生のメカニズムを知る。	第12回	栄養と食品衛生	栄養の現状と食品衛生法を知る・授業の振り返り	
第5回	主要感染症の予防対策	感染症法と予防法を議論する。	第13回	産業保健	職業病や労働安全衛生法を知る・授業の振り返り	
第6回	母子保健と新生児・乳幼児の健康	母子保健法を知る・授業の振り返り	第14回	衛生統計	人口動態・動態統計を知る・授業の振り返り	
第7回	青少年の保健と学校保健	学校保健法を知る・授業の振り返り	第15回	保健医療制度と法規	社会保障制度を知る・授業の振り返り	
第8回	精神保健	精神保健法を知る・授業の振り返り			事前・事後学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	学生のための現代公衆衛生/南山堂	受講生へのメッセージ	日常的に公衆衛生学に興味を持ち、現代社会で起こっている様々な事象に対する知的な好奇心を持ち課題への探求心を期待する。また、受講に関しては、時間毎の予習・復習を習慣化すること。判らないことはメールや対面で質問をすること。
参考書 [書名/著者名/出版社]	適宜、資料を配布する		

